

鯨城ニュース

第 25 号

平成25年11月発行

ホームページアドレス <http://www.kojyokai.net/>

発行/名古屋市高年大学鯨城会 編集/広報委員会

神社参拝とお賽銭

名古屋市高年大学鯨城会会長 堀 場 慶 夫



神社にお参りする方が沢山見えると思います
が、神社にお参りしますと1円のお賽銭が目立
つのを皆さんも気が付いていると思います。

神社にお参りする時にはお賽銭に1円は欠か
せません。何故かと言いますと、正式に神社に
参拝する時は榊（さかき）を捧げます。神様は
榊を大変好まれます。

1円の表面を見ても榊が刻印されてい
ます。その為に1円がお賽銭によく使われてい
るのです。

しかし、1円のお賽銭だけでは神社は運営が
成り立ちません。神社側からしますと、お賽銭
には、音の出るお賽銭より、音の出ない札の方
が良いのです。そこで、お賽銭には5円はご縁
がありますようにと言う事で縁起が良いのです
が、その時には、1円と志を組み合わせてお賽
銭とします。1円と5円、1円と10円、1円と
50円、1円と100円、1円と500円、或いは1
円とお札と言うように1円と志を組み合わせてお
賽銭をする事が良いと言われていました。また、
5円とか10円のお賽銭で沢山のお願いをする
方が見えますが、神様はそんなに沢山の願いは
聞いてくれないでしょう？

せいぜい1つか2つ位にして頂きたいと思
います。但し、音の出ない札であれば別です。

さて、信州長野の善光寺をお
参りした時、飯田の元善光寺の
両方をお参りしないと片参りになり良くないと
言われ、元善光寺をお参りました。その際大
変ユニークな神社が昼神温泉にある事を知りま
した。その名は長野県飯田市にある貧乏神神社
です。

この神社にお参りをすると、貧乏神を退治で
きるという事です。通常神社と言えば願い事を
して心を癒すところであり、健康祈願とか商売
繁盛等を祈願するところですが、ここ貧乏神神
社は健康祈願、商売繁盛をお願いしてもご利益
はなく、自分の心に住んでいる弱い心の貧乏を
退治するという事をお願いする神社です。『貧
乏とは、お金の事でなく心の問題です』災い転
じて福となすというのが神社の特色です。

神社には、高さ1メートルのご神木があり参
拝者は足で3回ご神木を蹴り、心の貧乏を追
い出す為に“弱い心飛んでいけー”と棒で3回
ご神木を叩き、最後に貧乏神に向かって豆を投
げて終了します。終わったあとはスッキリした
気分爽快な気持ちになります。皆さんも機会が
ありましたら是非一度行って見て下さい。

(24期・環境)

目次

表紙 名港中央大橋（めいこうちゅうおうおおはし）	
巻頭言	1
新たなる鯨城学園	2
鯨城学園抜本の見直しと鯨城会	3～4
各区鯨城会のページ	5～20
平成25年度鯨城会期別・学科別会員数一覧表	21
平成26年度 鯨城会会長立候補届について	21
学園便り 地域ミーティングを実施して	22
納涼健康講座「イキイキ健康・いきいき長寿」の開催とお礼	22
第10回鯨城会グラウンド・ゴルフ交歓会成績表	23
第28回公開講演会を終えて	23
堀川清掃大作戦	24
表紙説明／訃報／編集後記	25
第4回 鯨城OB文化祭（予告）	
第29回 公開講演会	

新たな鯉城学園

社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会会長 河内 尚明



先般の9月市会の議決を経て、平成26年度以降の鯉城学園指定管理者として本会が引き続き指定されることが正式に決定いたしました。一昨年の行政評価の判定からこれまで、鯉城会の皆様には学園存続に向けて多大なご支援ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、ご存じのとおり26年度から鯉城学園は大きな変革期を迎えます。名古屋市は抜本的な見直しとして「定員の拡充」「授業料等の増額」「地域活動学習講座の創設」「講師の外部化」などを行うことをすでに決定しています。

これを受けて本会が指定管理者としての申請を行ったわけですが、その申請内容のうち学園運営の理念として、「学びの循環社会の実現」を掲げました。鯉城学園を、高齢者の学びを地域社会の活性化につなぐ“学びの循環”のモデルと位置付け、学びの循環社会の実現を目指すというものです。

また、基本方針には「仲間づくりの機会の重視」を掲げました。交友関係の維持継続が生きがいや社会的活動への参加、継続の動機づけにもなります。私たちはクラス活動、クラブ活動や行事など学園生活のあらゆる場面で仲間づくりを重視します。

その上で、26年度から職員体制やカリキュラム等を変更するとともに、新たな事項にも取り組みます。主なものは次のとおりです。

1 職員体制の変更：

「教授」を「学務主任」に変更、10名体制を8名体制とし、1名あたり4クラスを受け持ちます。また、講座の講師は原則外部講師とします。

2 講座の充実：

「地域活動学習講座」は鯉城ホールにて学年が一斉に受講する形態とし、1年次に社会的課題等を中心に学び、2年次に活動者の実践を学びながら、知識の習得と社会的活動への意欲向上を目指します。

3 カリキュラム編成委員会：

魅力ある外部講師を確保するため、名古屋市立大学、日本福祉大学、鯉城会にご協力いただき、一部の外部講師の調整を行う編成委員会を設けます。

4 学園卒業生の講師登用：

鯉城会の協力により学園卒業生を講師に登用します。

5 学園サポーターの導入：

鯉城会の協力により卒業生による「学園サポーター」を導入し、学務主任とともに主に水曜日と金曜日の講座運営を担っていただきます。

6 社会的活動支援の充実：

「学生会との学園ボランティアセンター共同運営」「地域ミーティングの充実」などにより社会的活動実践のための支援を充実します。

7 学園運営委員会への学生・卒業生の参加：

学園運営委員会に、学生会代表並びに鯉城会代表にオブザーバーとしてご参加いただきます。

8 効果の測定：

学生及び卒業生を対象とした「社会的活動参加状況調査」を実施し、学園の効果を測定します。

9 オープンカリキュラムの開講：

市民が専門講座を体験できる「体験専門講座」の開講などを実施します。

以上の事項のうち職員体制の変更を除いてポイントを整理すると、三つに分類することができます。一つ目は「社会的活動参加のより一層の促進」です。上記のうち2、6、8などが該当するでしょう。二つ目は「市民に開かれた学園」です。3、9などが該当します。そして三つ目は「学生、学園卒業生が参画する学園」です。3、4、5、6、7などが該当します。

私は常々鯉城学園は、高齢期における生涯学習の場、生きがいづくり、そして高齢者の力を地域の活性化につなぐ「モデル」であるべきだと考えています。鯉城学園で学び卒業していく方々は、高齢者全体の人数から見れば一部かも知れませんが、しかし、学生や卒業生が社会で活躍していくことで、同世代や次世代の方々が「同じように活躍したい」「鯉城学園に入って学んでみたい」「学んだことを活かして社会に貢献したい」と思っただけのような波及効果を期待しているのです。そういった意味でもこの三つのポイントを充実、強化させていくことは非常に重要だと考えています。

この度の抜本的な見直しは鯉城学園にとって、昭和61年の開学以来最も大きな転換点であります。ピンチをチャンスにはありませんが、これまでの伝統を大切にしながらも新たなことにチャレンジしていきます。鯉城会の皆様にはより一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

鯨城学園抜本の見直しと鯨城会

名古屋市高年大学鯨城会会長 堀 場 慶 夫

23年度名古屋市事業仕分で廃止の評価を受けた事は、既に皆さんご存知の通りです。その後、鯨城学園存続に向けた会員皆様の取り組みにより、抜本の見直しを前提による存続が決定しています。

また、26年3月末で4年間の社会福祉協議会の指定管理者が終了しますが、現在の社会福祉協議会が、指定管理者に応募しました。結果として、平成25年8月9日付の新聞に掲載された通り、鯨城学園の指定管理者は社会福祉協議会が引き続き選ばれました。

9月の市議定例会で決定し、10月初旬に正式に指定されることになっています。

名古屋市の26年度高年大学鯨城学園抜本の見直しの概要及び、名古屋市社会福祉協議会の提案内容についてお知らせします。

抜本の見直しの内容としては、授業料の見直し、学生数の見直し、クラス数の見直し、プログラム・学科内容の見直し、運営体制の見直し等々があります。

1、名古屋市による見直し内容

◆授業料の見直しについては

- ・入学金 10,000 円を廃止し、授業料年間 20,000 円を 48,000 円とする。
他に園芸学科、陶芸学科、陶芸クラブの実習費が変更になる。
- ・園芸学科 年間 2,000 円→18,000 円
- ・陶芸学科 年間 4,000 円→32,000 円
- ・陶芸クラブ年間 11,000 円→56,000 円

◆学生数の見直しについては

- ・現在 568 名が 760 名に見直され、192 名増員となる。
- ・学生数増員により聴講生制度が廃止となる。

◆クラス数の見直しについて

- ・クラス数は現在の 10 学科 12 クラスが、4 コース 10 専攻 16 クラスになり 4 クラス増となる。

【コース分け】

- ・生活コース→生活専攻（2 クラス）96 名、
健康専攻 1→2 クラス 96 名
福祉専攻 1→2 クラス 96 名
- ・地域コース→地域専攻 1→2 クラス 96 名
文化専攻（2 クラス）96 名
- ・社会コース→環境専攻 48 名、
国際専攻 1→2 クラス 96 名
- ・創造コース→美術専攻 48 名、園芸専攻 48 名、
陶芸専攻 40 名

◆プログラム・学科内容の見直しについては

- ・地域活動学習講座が新設される。

◆運営体制見直しについては

- ・学科担当教授の見直し。教授の名称がコーディネーターに変更され、人数も 8 名程度となる。

◆コーディネーターの役割としては、カリキュラムの編成、外部講師の手配、講座の運営補助、クラス活動の支援を行う。講座は原則外部講師による。

2、名古屋市社会福祉協議会の新たな提案事項（主なもの）

◆学園サポーターの導入

- ・鯉城会の協力により学園やクラスの運営を、卒業生がサポートする「学園サポーター」を導入する。
- ・主に講座実施の水・金曜日において、コーディネーターとともに運営にあたる。

◆市民啓発として

- ・一般市民を対象に、公開講座を通して学園のPRを図るとともに、社会的活動への参加促進に寄与する。
- ・土・日等の空き教室を活用し、主に現役世代を対象に社会的活動を促進する公開講座を開催。
- ・他に体験専門講座、こども交流事業、夏期公開講座の開催。

◆カリキュラム編成委員会の設置

- ・質の高い講師を確保するため、名古屋市立大学、日本福祉大学、鯉城会の参加による委員会を設置、学園OBからも講師を確保。

3、鯉城会の準備状況

◆今後の鯉城会をよくする委員会を立ち上げ。

- ・平成24年9月に代議員会にて今後の鯉城会をよくする委員会を立ち上げ、平成25年4月に平成25年度代議員と平成24年度代議員と共同で委員会を定例化し会議を継続している。
- ・各代議員は4つの分科会に全員が各分科会に在籍している。
 - 1、組織及び運営改革検討分科会
 - 2、法人化検討分科会（NPO）
 - 3、渉外関連分科会
 - 4、鯉城学園運営協力検討分科会
- ・鯉城会NPOについては、法人化検討分科会が中心となり現在検討中ですが、16区鯉城会の賛同が必要であり、平成26年度も継続して検討していくことにしている。

◆高年大学鯉城学園抜本的見直しに伴い、鯉城会としての取り組みについては、鯉城会と名古屋市社会福祉協議会との話し合いの結果、16区鯉城会の会員の皆様に鯉城学園運営協力調査(アンケート)をお願いしている。

- ・調査項目としては、専門講座講師募集・学園サポーター募集です。
- ・応募者選考後に人材登録を実施する。
- ・登録後の契約については、社会福祉協議会と個別に行う。

私達鯉城会としては、社会福祉協議会指定管理者と、高年大学鯉城学園と今後も協力体制を積極的にとっていきたいと考えています。各区鯉城会の皆様、今後もお一層のご支援ご協力の程よろしく申し上げます。



花水木鯨城会の発展をめざして

—千種区— 花水木鯨城会

副会長 久連石 一彦

花水木鯨城会は、会員数 299 名で、田畑会長以下 37 名の役員と運営委員で運営されています。行事として、年 3 回の日帰りバス旅行、社会見学、趣味の作品展を計画しています。今年の趣味の作品展は、12 月 25 日（水）～1 月 5 日（日）にかけて愛知芸術文化センター B2F アートスペース X で開催します。昨年は来場者が 830 名あり、関心の高さを物語っています。社会奉仕活動は、デイサービス高齢者介護支援、子育てサロン支援、カフェサロンボランティア、茶屋ヶ坂公園の清掃、名古屋ウイメンズマラソンボランティアなどで、これらの活動の参加者が昨年 1,149 名となり、関係者から高い評価を得ています。また、同好会は、12 団体あり、会員数は 392 名で、どの同好会も活発に活動しています。

花水木鯨城会をさらに発展させるための課題として、運営委員を支えている「期」の人たちは参画意欲が旺盛であるが、それを過ぎると急

速に意欲が薄れる傾向、企画のマンネリ化による魅力の低下、卒業生の入会者の減少傾向などが挙げられます。これらの課題に対して、会員の団結と運営委員の熱意で解決しなければなりません。その一環として、昨年度から「地域会」を組織し、地域長を中心に、地域の仲間と気楽に行事や社会奉仕活動に参加しやすいよう環境を整えました。また 24 期や 25 期では、それぞれ「期会」を結成し、親睦を深め、団結を図っています。ほかの「期」の方たちもこれに続けられることを期待しています。卒業生の入会予定者に対しては、学園と連携し、授業や地域ミーティングなどの機会を通して、丁寧に説明し、入会を勧めたいと思っています。そして、健康で豊かな人生を送り、出来る範囲で社会奉仕活動に参加しようではありませんか。どうぞ皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

(24 期・地域)

千種区在住鯨城学園 27 期生第 3 回ミーティング

会計委員長 小川 貞之

平成 25 年 6 月 7 日金曜日に「千種区社会福祉協議会」にて、千種区に在住の 27 期生 47 名中、35 名が参加され、花水木鯨城会会長、千種区社会福祉協議会小林主事、吉田先生の挨拶に始まり、三班に別れ、「社会福祉協議会の役割と業務説明」及び当館内での代表的な「デイサービスの実践の見学」「子育てサロンの見学」等班別に現場見学が実施されました。

「デイサービス」では、介護等級別による入所条件、花水木鯨城会のボランティア内容またボランティア注意事項等、皆さん真剣に聞かれていました。中には私達も直ぐお世話になればと、言いながらその前に少しでも奉仕し

なければとささやかれていました。

「子育てサロン見学」も出産から 2 歳位までの子供さんとお母さんに対して千種区田代エンゼルの会があり、当千種区社会福祉協議会では、そんなお母さん子供さんの、子育て情報交換場所、お友達づくりの場所として、特に最初のお子さんのお母さんは、不安がいっぱい、こんな集まる場所があれば、安心できると 27 期生の見学者も娘に紹介したい等、又、条件等色々熱心に聞かれていたのが印象的で、今回の企画は、福祉活動に対する不安が無くなり今後の積極的な参加活動に繋がると実感しました。

(25 期・生活 A)



説明を聞く 27 期生



地域ミーティング



子育てサロン見学



デイサービス見学



『外出』のすすめ

広報委員長 後藤 桂

私が、高年大学のOBであるということは、既にリタイアし社会的責任も殆ど無く、インド流に言えば林住期・遊行期過ごしているわけです。今はただ『自らが選らんだ時間を自分の責任によって生きている』と認識しながら、失敗も気にしないで『時間がかかっても良い、何度もやり直せばよい』そんなふうを考えながら効率悪く生きています。

ただ物事を行う上では、健康と少しだけ経済的余裕は必要になります。しかし、これは何よりも良い人間関係が前提になります。元気でお金があればいいと言うものでは決してありません。また自分だけが良ければいい、と言うわけでもありません。共有し共感できる人間関係があってこそ、景色を観ても、食事をして楽しくすばらしい経験になるのだと思います。鯉城会でクラス、クラブの友人と過ごした2年間で、そういう事を更にはっきり教えてくれました。東鯉城会では、広報を担当させていただいたおかげで、会全体の会員の皆さんの事が少しずつ

解るようになりました。90歳を越し、特攻隊員であった竹山さんの手記、米寿を迎えられ、益々お元気な森川さんの好きな佐藤一斎の言葉…そうした先輩方とのちょっとしたお付き合いが、私の経験の中に新しい繋がり智慧を運んでくれ、現実の『人生』に広がり深みを実感させてくれるのです。

現代を称して、グローバル、スピード、変化の時代などと言いますが、反面、現実感の乏しい時代のようにも思います。鯉城会のような組織に参加しているということは、自分の活動を通して、誰の為でもない自らの『生』の意味を考える事だと思えます。

孤独な人生は止めましょう！繰り返せば、感動を共有・共感し合う『生』の実感こそ、人生に楽しみを運んでくれます。寺山修司ではありませんので、『家出』ではなく、『外に出』て、仲間と共に活動し、人生の中で、与えられた時間をじっくり味わいましょう！（25期・文化B）

東鯉城会広報誌の表紙から

広報委員会

表紙は言わば東鯉城会の顔のようなものです。この機会に『東鯉城たより』最近10年の一端をご紹介します。

年	号	場所等	号	場所等	
2003	23号	名古屋ドーム	2008	39号	徳山ダム（旅行）
2003	24号	オアシス21	2009	40号	寒牡丹（徳川園）
2004	25号	名古屋市政資料館	2009	41号	杜若（徳川園）
2004	26号	徳川園園	2009	42号	矢掛川の彼岸花（半田・歩こう会）
2004	27号	布池教会	2010	43号	名古屋地方気象台
2005	28号	徳川園	2010	44号	建中寺と長母寺
2005	29号	二葉館	2010	45号	長母寺本堂
2005	30号	東区の山車（徳川園）	2011	46号	寒牡丹（徳川園）
2006	31号	建中寺	2011	47号	石橋花（徳川園）
2006	32号	おしゃべりサロン	2011	48号	花と寒鯉城（パソコンサート）
2006	33号	名古屋テレビ塔	2012	49号	藤のメジロ
2007	34号	第2回作品展（栗川）	2012	50号	祈りの地（タイ）
2007	35号	寒鯉城の花（杉原道長）	2012	51号	名古屋市政資料館
2007	36号	徳川園（旅行）	2012	52号	布池教会
2008	37号	徳川園（旅行）	2012	53号	徳源寺
2008	38号	東区の山車（徳川園）			

10年間の表紙リストを見ますと、やはり東区には有名な徳川

『東鯉城たより』表紙10年の歴史(2003年6月～2013年6月) 名な徳川園や、寺社が多い事を反映して建中寺や長母寺などが並んでいます。寺社と言っても、仏教寺院ばかりでなくカトリック布池教会も2回登場しています。

10年前当初には、名古屋ドーム（1997年竣工）やオアシス21（2002年竣工）と新しい建築物が続いています。ちなみにオアシス21や愛知県芸術文化センターは、栄に近いので中区

と思われている方もありますが、どちらも『東区』です。

最新の53号の表紙は、臨済宗妙心寺派の徳源寺でしたが、4月頃に咲く桐の花は、是非一度観て頂きたい景色です。東区にはまだまだあまり知られていない名所・旧跡が一杯あります。他区の皆様も、東区を訪



24号オアシス21



52号布池教会



53号徳源寺の桐の花



名城公園ボランティア活動

—北区— 北鯨城会

会長 秋田 輝 長

北区には、広々とした名城公園があります。朝早くから多くの人たちが、マラソンをしたり、歩いたり、ラジオ体操をしたりして健康維持・増進のために集まってきています。

野球場では、少年や大人たちが汗を流し、広場ではお年寄りがグラウンドゴルフで楽しんでいます。花壇には常に美しい花が咲いており、写真機を持った人が熱心に撮影をしています。

多くの市民に憩いの場所として、愛されている公園であります。

今年の夏は、35度以上の猛暑が何日も続きました。そんな日、朝の8時頃に訪れた名城公園は別天地のように涼しく感じました。木々の間を歩くときの爽やかさは、神様が与えてくださったと思えるぐらい自然のありがたさを、体イッパイに感じる事ができました。多くの人も名城公園のありがたさを感じていることだろうと、思わざるを得ませんでした。

この名城公園の整備、管理、お世話をさせていただいていることは、皆様のためになっているのだなあと感じてうれしくなりました。

3年前には、硬い土をならしてナチュラルガーデンの整備にあたりました。今や季節折々の花が咲き誇っています。1年前には、名城公園の今後のあり方について話し合う機会を得ることができました。そこで、公園内で結婚式を挙げたらどうかという案も出てきました。今後どのような公園になっていくのか楽しみです。

その他にも、名城公園に北鯨城会がいろいろと係わっていることを紹介したいと思います。

①清掃

8グループに分かれて、毎月第2・4土曜日に広場周辺の掃除をします。今年度は全グループで2回掃除をします。

昨年度は、延べ165名参加しました。

②オランダ風車前

昨年12月チューリップの球根植え付けました。29名参加しました。

今年5月ヒマワリの種蒔きをしました。50名参加しました。8月に撤去しました。

5名参加しました。

③アサガオ塔(2塔)

アサガオの種蒔き、水遣り、草取りの世話をしました。7~8月中心に毎日、昨年度は延べ128名参加しました。

④花の山

昨年の12月にチューリップの球根を、今年の6月にはサルビアを植え付けました。

園芸緑友会(90名参加)が中心でしたが、北鯨城会会員も多数参加しました。



①清掃



②オランダ風車前



③アサガオ塔



④花の山

(23期・園芸)



第3回地域ミーティングを終えて

—西区— 西こじょう会

総務委員長 小岩孝志

27期生の皆さんを地元へ迎えてのフィールドワーク「第3回地域ミーティング」は、西こじょう会としては全く新しい試みで、非常に貴重な経験となりました。

内容・具体的な方法は学園から提示されてはいましたが、それを実施に移すに当たり、如何にして年齢も、性別も、考え

方も違う皆さんを受け入れ、趣旨に沿った活動を提供できるのかに頭を悩ませました。当初浮かんだ案は、全員が一堂に会しての庄内緑地公園での清掃活動でしたが、最終的には梅雨どきでもあり、当日雨天の場合を想定し屋内で実施できるプログラムを採用しました。

西社会福祉協議会から、西ボランティア連絡協議会と子育て支援会議に協力をお願いしていただき「手話」「点訳」「音訳」「アイマスク」「車椅子」「おもちゃ病院」「子育てサロン」の「7会場」での「7つの体験コース」を用意しました。実施にあたり、27期生の皆さんには前もってアンケートを配布し、体験したいコースの希望を確認しております。

当日、西区役所5階在宅サービスセンターに27期生41名（50名中）が集合、授業の一環でもあり全員の出席を期待していましたが、少し残念な結果でした。

西こじょう会会長、西社会福祉協議会事務局長、鯉城学園豊嶋教授の挨拶のあと、幹事が引率して各会場に移動し、ボランティア団体の講師の話をお聞きしながら、実際に体験をしました。このような体験は初めての人も多く、皆さんは熱心に質問をしたり体験をされていました。体験終了後のアンケートで、「充実した体験だった」「男性向けの選択肢が少ない」など貴重なご意見を多数いただきました。今回、ここで得たことを次のフィールドワークに生かしたいと考えています。

（25期・美術）



手話



点訳



音訳



アイマスク



車椅子



おもちゃ病院



子育てサロン



中村鯨城会の《今》…

—中村区— 中村鯨城会

行事委員長 岩田金光

中村区民祭りに『昔の遊びを子供たちに』をテーマに、今年も中村鯨城会は参加します。10回目を迎える『作品展』は、地下鉄本陣駅構内ギャラリーで開催、地域活動は月2回名古屋駅西側歩道ほかの清掃活動、福祉活動は思いやりの心を持って、数か所の施設でボランティア活動、又、集めた手作りの雑巾を積み上げれば赤鳥居といい勝負、広報の『中村鯨城会たより』は55号です。行事など全ての事柄が記録されていますよ。とにかく四半世紀も長い間、中村鯨城会は活躍しています。凄いことです!!

今年は、先輩たちと一緒に25年目の記念行事を兼ねてバス旅行を企画しました。多くの賛同を得、バスはほぼ満席の状態でお出立、一路滋賀県の『MIHO MUSEUM』へ、ここは1997年11月に『桃源郷』をめざして信楽の地に誕生しました。建築設計はI・Mペイ氏によるものです。古代オリエントからアジア・日本に至る美術工芸品のコレクションを鑑賞し、無農薬食材で作られた松花堂弁当を味わい、大地が織りなす大いなる恵みを賞味出来ました。信楽陶芸村で『登り窯』あれこれ、たぬきさんの御利益などを勉強していたら目が会った。今日から尾張中村の住人ともよろしくと挨拶。じゃじゃ!!



MIHO MUSEUMにて 2013.9

そしてもう一つ胸を張って誇れることがあります。今期入会の26期生(31名)の協力性は素晴らしく、80%強の皆様がそれぞれの役割に、責任を持って参加してくれます。この状況を27期生へと繋げていけば、楽しく活気あふれる中村鯨城会になることは、間違いないことでしょう。27期生も6月の地域ミーティングで、AED・車イスの体験講座に興味を持って体験して頂き、車イスについては公道での実践もあり、する人される人の気持ちを味わった事で、意義あるミーティングになったと思います。

(25期・美術)



一中区一 中鯨城会

親睦バス旅行

会長 多川 裕弘

中鯨城会では、会員の親睦を深める活動の一つとして親睦旅行を計画し実践してきました。会員の年齢、参加者数を考えると日帰り旅行が妥当と考え、個々の会員の予定が比較的空いている2月に実施しています。3年前からは京都へ出かけています。22年度は洛央・洛北をメインに二条城、西陣会館、北野天満宮、京都御苑へ出かけました。23年度は洛南をメインに、京都南インターを出てすぐの城南宮、月桂冠大倉記念館、寺田屋、伏見稲荷を参拝・見学しました。城南宮では椿・梅祭りを目当てにしましたが、予想以上に梅の開花が遅れ、梅の花は少ししか見る事はできませんでした。去年は洛東を中心に、平安神宮、知恩院、南禅寺、三

十三間堂を見て回りました。

この親睦旅行では、昼食を楽しみにしてみえる方が多く、お値打ちで美味しい食事がいただけるお店を、旅行会社の方に紹介していただき好評を得ています。

貸し切りの観光バスは、参加者の人数で、一人当たりの費用が変わってくるので、参加者数を考え、中型バスを利用しています。また、係が2日前に、体調確認も兼ねて参加者に出席確認の電話をかけるようにしています。

朝8時出発、午後5時帰着の僅かの時間ですが、会員の思い出づくりに役立っています。

(23期・生活B)

大須探検隊

区幹事 梅田 国清

中鯨城会では今年から、もっと地元の事を再認識しようという活動を始めました。その初めての催しが名付けて「大須探検隊」。私自身、大須に住んで10数年、今さら大須探検隊でもないかなと思ながらも参加しました。当日は朝から快晴、街歩きにはぴったりの日になりました。参加者は総勢25人、午前10時大須観音に集合しました。講師は25期・生活Bの高木義博さんです。高木さんは以前から郷土史に興味があり、学園の郷土史研究クラブなどに入り、研究をされたそうです。

講師の第一声、「ここ大須観音は観音様だけでなく色々なものがあります。」「うん!」「そこにあるのが芭蕉の碑。あちらには歯菌の碑があり、向こうには扇塚があります。」最初から驚きでした。数限りなく大須観音は訪れていて、大正琴の碑や人形塚は知っていましたが、その他にもこんなに色々あったとは…。

「いざゆかん ゆきみにころぶところまで」何人かが額を集め、やっと句碑が読めました。大須観音に対する地元の人の親近感、また、色々なことを受け入れる大須観音のふところの深さを再認識しました。

次に訪れた富士浅間神社も何回か訪ねていま

すが、小さな神社という印象しかありませんでした。ところがこの神社は、祭神は木花開耶姫命（このはなさくやひめ）で、明治の廃仏毀釈までは名古屋の三名水の一つ柳下水もこの境内に含まれていた広大な寺域を持っていたということでした。



このほか、那古野山の古墳、大光院、三輪神社などをまわりましたが、どこも古代からの歴史が連綿と続くところばかりで、改めて大須という町の持つ奥深さを感じ、合わせて知的好奇心を大いに満たすことができた2時間でした。

中区は文字通り名古屋の中心、碁盤割り地区もありますし、矢場町など聞くだけで歴史的な興味を引く地名もたくさんあります。さて次はどこの「〇〇探検隊」。 (25期・国際)



「昭和こじょう会便り」の編集

総務委員長 加藤和男

昭和こじょう会便り第72号を、今年の6月に発行しました。従来の形式とまったく異なり4頁建て全カラー刷りで革新的なものとなりました。

当会は一昨年20周年を祝いましたが、「便り」は先輩の皆さんが毎年入れ替わりながら、20頁に及ぶ手作りの広報誌を年4回発行し続けてきました。「蓄積された歴史と伝統を守り次に橋渡しする。」と言われますが、将にこの広報誌の編集がそれに当てはまります。実際に引継ぎ資料は、編集手順や作成基準等が詳細に記されており、そのお陰で毎年代わる編集委員会も何とか質を余り落とさず「便り」を発行することができます。

さて、昨年の編集委員会も素晴らしい仕事をされました。特に「便り」の巻頭を飾る区内の小学校訪問シリーズは大変な労作で読者の評判の良いものでした。それにもかかわらず後を引き継いだ我々は変革を求めました。そのきっかけはスタッフ不足による危機感からでした。何とか少ない編集委員でもっと効率的に制作できな

いか？もっと楽しめ、見やすい記事を書けられないのか。役員会に議題として取り上げられ、議論のすえ4回のうち2回を縮小版にすることを認めてもらいました。新編集委員会は委員を補充するなど強化し、初めての試みに挑戦しました。「窮すれば通ず」と言いますが、慎重な女性委員長やパソコンの達人など、頑張ってくれる人が現れ、苦労を重ねましたが全カラー刷りの「便り」を発行することが出来ました。発行後のアンケートでは、「記事の内容が少なく不満」という意見もありましたが、「きれいで見やすい」、「文章が短く理解し易い」、「4回ともこの方がよい」など肯定的な意見も多くほっとしました。

毎年リーダーが交代する組織にあっては、引き継いでも直ぐに全体像を把握できず前年通りの事業を進めがちだと思えますが、「守るべき基本は大切にしつつ、思い切った見直しとか変化を求める」ことが組織を継続していく活力源になると思いました。(25期・園芸)

2013年6月 昭和鯨城会会報 72号

昭和こじょう会便り

新会長にインタビュー
楽しく活動しましょう 昭和鯨城会長 25期 (園芸) 御藤所 北川 勝彦

今年度、昭和鯨城会は26期生22名の新会員を迎え、総数205名の会員を揃える会となりました。これから1年間重責を担って下さる新会長に会に対する思いをお聞きました。

先ず平凡な質問ですが北川さんの故郷感について？
実は名古屋(御藤所)生まれの名古屋育ちで今に至っています。故郷を愛し、故郷を大切にしたい気持ちは、人に負けないつもりです。

普段の生活で心掛けていくことは？
健康法として、足は向くまま気の向くまの散歩です。一日一万五千歩を目安に2~3時間歩きます。

趣味は？
学校に入学するまでは毎月1回程度の旅行を楽しんできました。運転が好きで車の旅、卒業すれば再びと思いい、しかし、今は鯨城会・・・奥さんにも・・・

会長就任の方針・目標は？
今年度の運営に当たりキヤッチフレーズを考えました。それは「明るく、笑顔で前進」です。行事・地域活動等はゆっくり、楽しく、謙虚な気持ちで交流し合い「和」を高めることが大切だと思っています。

理事長の語られた会の伝統を守りつづける、新しいことが出来る様に最善を尽くしたいと思っています。皆様のご協力よろしくお願い致します。

そして具体的な方策として4つの項目に纏めました。

- 1 ボランティア活動の参加者を更に増やし活発にする。
- 2 学区ミニ集会和その活動を推進する。
- 3 昭和こじょう便りをカラー化し見やすい紙面にする。
- 4 社協や区役所、そして他のボランティア団体と協働し社会貢献できるよう努力する。以上です

最後に、ご自身の性格の分析を？
行動力と実行力はある方だと自負しています。ともすれば前ばかり見えてしまい勝ちで、周りがあり見えていない様な気がしています。

どうも有り難うございました。
南切れの良い話し方、分かり易い言葉に力強さと若さを感じました。どうぞ、お体をいたわりつつご活躍なさって下さい。(インタビュー 斎藤 幸子)

「Tara de Romani」(第10回 趣味の作品展より)
ルーマニア語で「ローマ人の国」
前広の国の多くはスラヴ系の民族の国ですが、ルーマニアはローマ時代にローマ人がつくった国でローマの公用語であるラテン語を扱うラテン系国です。宗教はキリスト教正教会。
ルーマニア・ブラショフ市の真道で晴天の光のなか黄色い壁の街並みが強烈な印象でした。

24期 (文化) 村妻 横井 純夫

INFORMATION

7月から9月までの行事とボランティア

行事委員会	ボランティア委員会
<p>公園講演会 大山城白南文庫理事長成瀬淳子氏「お蔭様、よもやま話」 期 日：7月4日(木) 13:30~15:00 会 場：鯨城ホール(入場無料)</p> <p>市科学館でプラネタリウム観望 ドーム内径35M。星座の投影は巨大。リズムカナル音楽で宇宙へ飛び込ませよう・・・。 期 日：7月26日(金) 集合場所：地下鉄伏見5番出口 集合時間：午前8時30分 会 費：800円・200円(敬老) 申込方法：行事委員長・上澤かよ子まで その他：敬老手帳持参の事</p> <p>昭和区福祉まつり参加 区内の多数のボランティア団体が参加。多彩な催しが行われます。自由にお出掛け下さい。 期 日：8月16日(日) 会 場：昭和区役所講堂等 本会参加：土鈴の紐付け指導と陶芸品の販売</p> <p>鯨城会グラウンドゴルフ大会出場 各区鯨城会から選手が出場GGの対抗試合 期 日：10月7日(月) 会 場：鶴舞公園 選手募集しています。 還手準備中 行事委員長 上澤かよ子まで</p>	<p>主要道路清掃活動 地下鉄八事駅からバス停磯崎町までの歩道の清掃作業 期 日：7月19日(金) 午前9時~ 方 法：4拠点に分かれ指定学区が清掃 クリーンパートナー 地下鉄の御藤所駅から荒畑駅までの山王通歩道の清掃作業。今年度から東郊通りまでの北側を延長しました。 期 日：8月28日(水) 9月25日(水) 集合場所：荒畑駅西口 瑞雲保育園前 集合時間：午前9時 その他：軍手を持参下さい。 1時間程度の作業後ティータイムで団らん。</p> <p>川名公園花壇の管理 川名公園に二面の花壇を管理しています。 夏の盛り水やりと草取りが大変。ご参加を・・・ 期 日：7月8日(月) 9月9日(月) 集合場所：川名公園 集合時間：午前9時30分 その他 ●土鈴制作 7月4日(木) 1時30分 ライトハウスにて 会員自由参加 ●堀川清澤大作戦(主催 鯨城会、鯨城学園等) 期 日：7月13日(土)10:00~ 手廻り:7月20日 清掃区域 全体を8区域に分かれ清掃活動を行う。 昭和鯨城会から20名位参加予定 同会社社 ボランティア委員長 天野美穂子まで</p>

第11回趣味の作品募集 (予告)

- 作品展示日 10月22日(火)~24日(木)
- 作品展示会場 昭和区役所 6階 601会議室
- 募集作品 洋画・日本画・水墨画・書道・短歌・俳句・川柳・陶芸
彫刻・版画・軍工芸・紙工芸・編物・刺繍・染色・盆栽等
- 出展の申込 8月初旬 学区幹事さんを通じて実施要領配布

この件に関する問い合わせ 総務委員長 加藤和男まで TEL. 052-731-7815



—瑞穂区— 瑞穂鯨城会

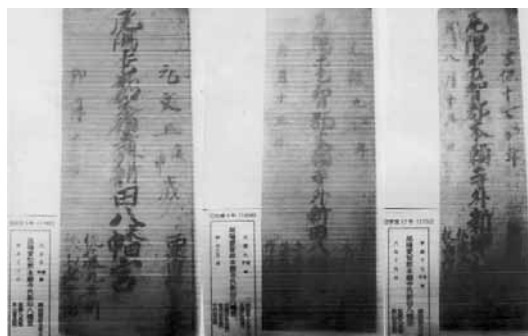
江戸時代にタイムスリップ

～瑞穂区内の小さな社（東栄八幡社）から木札発見～

藤田 芳孝

筆者は、現在瑞穂区の史跡ウォーカーの会で、瑞穂区を中心にその歴史の魅力を多くの皆さんに面白く、楽しく、時には真面目に説明、案内するボランティア・ガイド活動をしています。さて、今般は史跡の一つで一部の新聞にも報道され話題を呼んだ【東栄八幡社】から発見され、江戸時代出現とも思われる【木札】について簡単にご説明します。この木札は平成24年9月、社殿修復工事の準備中、社の中から偶然に木札が発見されました。古くは江戸時代の3枚は、元禄9年（1696年）、享保17年（1732年）、元文5年（1740年）で東栄町の歴史を物語る貴重な資料です。さらに明治36年、大正13年、昭和31年の3つも同時に見つかりました。なお、これらの木札から名古屋市博物館学芸員さんの見解から、次のような事が解明されました。

▲現在の八幡社は、本願寺外新田八幡社として



元禄時代に創建、又その当時は熱田神宮の支配下にあった。

- ▲元禄7年に誕生した本願寺外新田は、15軒の家があった。元禄9年の木札から、15軒のうちの4軒の姓名が判明。
- ▲江戸時代の3枚は宗教的行事を目的に用いられた、禱札である。
- ▲明治時代以降の3枚は、目的が記載され形状も異なり、棟札と呼ばれる。

～こんなロマンチックな小さな「社」へ足を運んで見てはいかがでしょうか？～



- 東栄八幡社：瑞穂区東栄町5丁目～名古屋市立博物館から徒歩10分
- 木札：維持保存のため公開はされていません。木札の写真は社務所内に掲示されています。（24期・文化A）

区鯨城会同士の交流をしませんか??

各区には史跡・遺跡・建物・文化等いろいろ紹介出来るところが沢山あるかと思えます。瑞穂区には「民間信仰のみち」「ふるさとの歴史みち」「塩付街道と桜みち」「貝塚と城あとをしのぶみち」と四つの散策路があります。その他にも魅力一杯の街道を皆さんにご案内します。同様に皆さんの区の見所を案内

していただく、こんな鯨城会同士の交流を望んでおります。

こんなボランティア活動をされておられる会員の皆様、是非ご連絡下さい。

服部義明 TEL 871-8729





《熱田鯨城会伝統行事》土鈴・絵馬づくり！

—熱田区— 熱田鯨城会

広報担当 柴田 泰子



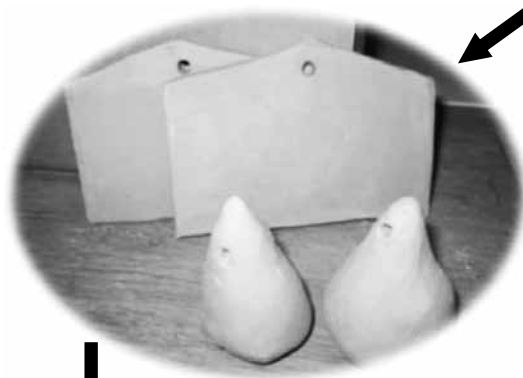
熱田鯨城会が毎年7月に新人会員を中心に会員が「熱田生涯学習センター」内の陶芸教室に集まり、講師のIさん（11期 健康学科 陶芸クラブ）の指導の下、行われている“土鈴・絵馬づくり”について紹介します。（24期・地域）



力をこめ、土をこねた後切り分けます



初めての土鈴・絵馬作りに真剣です。心をこめ製作中



出来上がりました！



来場者にお買上頂きます



絵付けの真っ最中です。上手く色付できるかな？



あったかあつたフェスタ会場にて土鈴・絵馬の提供



お化粧した土鈴



12月、タオル等と一緒に熱田社会福祉協議会へ売上金を寄付します



クラブ紹介

中川鯨城会は現在 26 期生を迎え 246 名の所帯となりました。

田中利明会長以下 37 名の役員と各委員会のサポーターを含めて約 50 名の規模で会の運営を行っております、会員は社会奉仕活動、社会見学行事、各クラブ活動等、積極的に参加され頑張っております。当会にはグラウンドゴルフ、気功、カラオケ、パソコン相談室と 4 つのクラブ活動がありますが今回はその中の 3 クラブの概況やエピソード等お届け致します。



(グラウンドゴルフ)

当クラブは平成 25 年度現在、坂倉四郎代表以下 33 名の会員数です。毎月 1 回、会員相互、及び地域の皆さんともプレーを通じて親睦を図り楽しんでおります。平成 9 年の設立以来最も歴史あるクラブです。当初は年間 5 回の実施でしたが現在は 3 月～11 月の年間 9 回の実施と、地域の会 {長寿会} との合同による親睦、また未加入者のプレーも可能としており

地域での交流の場となっているのが当会の特徴です。会員には定例会の成績と、参加によるポイント制での年間賞を設けて楽しんでおります。

(気 功)

平成 14 年の発足、鯨城 1 期生の中村安信氏を講師として迎え、河原幸夫代表以下 35 名の会員数で月 2 回の活動と数回の親睦を行っています。気功とは“心と身体の健康法”で基本は腹式呼吸、会の主旨を {余生を健康で楽しく} としております。腹式呼吸で気を静め補気養生功以下按摩功、スクワット (3 種×50 回)、スワイショウ、香功の初級、中級から波動功 (太極拳) を行い気を治めて終了となります。休憩を挟み約 1 時間半の修行 (運動?) です。参加率は高く 80% 近く参加されます。最後に参加者全員で歌を合唱して解散です、10 余年の歴史が皆さんの元気を物語っているクラブです。



(パソコン相談室)

平成 24 年の発足、犬飼利桂代表以下 32 名の会員数、月 2 回の活動です。代表を始め講師格のご苦労が顕著で機種、初級～中級等レベルの違いへの対応が大変な様子です。テキストを基に講師が説明しながら行っていますが初心者も大変、面白いのでその一面を。講師と一緒に時は「はい！わかりました…」と、その後一人で何回もやっているうち突然「すみません〇〇〇が無くなった」「〇〇〇が出ない？」と。同じようにやっていて隣の人は出来て自分が出来ない時、「私のパソコンはオカシイのでは？」と果ては機械のせいに！ン??講師の「リセットすれば治りますよ」にご当人「人間も時々リセットが必要ね」と。この様にアチラコチラで笑い

が起きる賑やかでとても楽しいクラブとなっておりますが、未だ初心者にエールを送っている段階でもあります。

(24 期・環境)



今年度の活動状況について

—港区— 港鯨城会

副会長 田中宏昌

今年度の役員改選で副会長を仰せつかり、とだがわこどもランド等、各種ボランティア活動責任者も兼ねて委嘱され、多忙な毎日を過す事になりました。

①色々なボランティアに取り組んでいるが一つを例に取れば5月3日～5日に行なわれた、とだがわこどもランドスタンプラリーは本館2階、プレイハウス、展望台の3箇所を受持ちました。子供達との触れ合いは実に楽しくゲームやくじ引きをクリアしてスタンプをゲットした子供達



ボランティア活動

の顔は本当に嬉しそうでした。我々がエネルギーを授かったような気がし、継続して取り組む行事の一つと認識しました。又、障害の有無や世代の垣根を超えて交流を図るため、港区第3次地域福祉活動計画の立案から参画して港区の現状、課題、資源等の概要を某私立大学教授を部会長として「地域福祉活動計画とは何か」を学びながら共通認識が持てるよう、何回かの会議を重ね計画を立て実行が出来るよう努力中です。

②グラウンドゴルフ、パソコン、カラオケ等の同好会が次々と発足しました。次は「ウォーキング同好会を」との意見を受け鯨城学園のハイキングクラブで経験した事を基に今年度に入り発足させました。25、26期の人に協力してもらい第1回目は5月2日に東山一万歩コースを選定して開催しました。里山を利用したハイキングルートで適度なアップダウンがあり、樹木や草木が豊富で新緑の中、快適なウォーキングが楽しめました。昼食は途中開放感溢れる山の中で弁当をおいしく食べ、親睦を



同好会活動

深める事が出来て12名の参加者全員に喜んで頂きました。参加者の一人より一句提出がありました。「木ぎ息吹き友と小道の東山」海守。今後とも参加者の皆さんの体力に負荷がかかり過ぎない様なコースを選び安全で楽しく行ないたいと思っています。

③当鯨城会の鳥山正義会長を中心に活性化に取り組み健康寿命を延ばし、楽しく活力ある会にする為、微力ですが頑張ります。

(25期・生活A)



「趣味の作品展」の特徴

—南区— 南鯨城会(こなみ会)

会長 佐野達郎

南鯨城会(こなみ会)の「趣味の作品展」は他の区会には無い特徴が3つあります。毎年、南区役所の二階講堂が作品展の会場となっております。 それではご紹介いたします。



- 其の① 広い会場だから、作品を「ゆっくり・じっくり」とご覧いただいております。
- 其の② 広い「休息コーナー」だから、お茶やコーヒーを飲みながら「ゆったり」とくつろぎのひととき。時を忘れ会話が弾み、会員相互の親交を一層と深められるスペースです。展示期間中は会員は元より一般区民の方からもご好評をいただいております。
- 其の③ 南区社会福祉協議会からご協力をいただいております。介護施設の「ひまわり」・「そよ風」・「はるかぜ」の三施設からご賛同をいただき、超大作の「協同作品」を出展頂いております。毎年どの施設も大作揃いなので、展示会場は一段と華やかであります。



施設のみなさんは、この「協同作品」を毎年楽しんで作っていますよ、とのお話を職員さんからお聞きしています。

主催する「こなみ会」の行事委員や他役員は、恒例の作品展ですが、企画と準備の励みにもなっています。

展示期間中には、施設のみなさん達は車椅子に乗り、職員さんの介護を受けながら、一つひとつ説明を受けて「作品にそっと手を添えたり、笑顔になったり」と、その光景はとても心温かいものを感じました。

南鯨城会会員の参加はもとより、地域の人達からも多くの「趣味の作品」の出展をいただいております。今後も、作品展を通じて地域の人達と一層の親睦を深め、より多くの人達と交流を広げ、さらに地域社会に貢献できる「こなみ会」に私達はならなければなりません。

(24期・陶芸)



守山区は古墳の宝庫

～上志段味古墳群について～

浅井保司

1. 概要と特色

名古屋市には約 200 基の古墳があり、守山に 6 割 120 基、その内 60 基が上志段味地区に集中している。守山は北に庄内川、南に矢田川があり、その流域に古墳群が形成された。

当古墳群は市内最高峰の東谷山（標高 198m）山頂から南西麓から延びる河岸段丘上に（高位 100～90m、中位 40～50m、低位 30～25m と 3 区分・斜面 80～60m）分布する。

範囲は東西 1.5km、南北 1.0km と狭い範囲の中に古墳時代の 4 世紀中～8 世紀初め頃まで休止期間 150 年を含め築かれた。墳形も前方後円墳、帆立貝式古墳、円墳、方墳と多様である。

市は学術にも貴重であり、保存、整備、活用を目的とした「歴史の里」構想を発表した。

2. 主たる古墳

4 世紀中：中位河岸段丘上に尾張地区最古、最大の前方後円墳である白鳥塚が築造。（国史跡）墳長 115m、石英が頂上、葺石の間に使用。大和王権（天皇）の行燈山古墳と同類形、石英が近畿、四国で使用され、被葬者は大和王権と密接な関係を持った尾張地区の首長と思われる。

東谷山、山頂には円墳径 28m の尾張戸神社古墳が築造。白鳥塚同様埴輪は使用されていない。

尾根添いに墳長 64m の前方後円墳中社（標高 175m）、径 30m 円墳南社（同 155m）が築造。この二古墳には近畿地区で出土された円筒埴輪と同じ造りの円筒埴輪が使用されていた。

この 4 基の被葬者は尾張地区の首長者とその関係者と思われる。

5 世紀後半～6 世紀前半：西大久手、志段味大塚、東大久手、勝手塚と何れも、帆立貝式古墳が築造された。墳長 37m の西大久手にて大和王権の技術で東

日本最古の人、馬、鶏円筒埴輪が出土した。墳長 51m の志段味大塚では、甲冑、馬具、武器、帯金具、五環鈴等が出土し、最新鋭の武装である。周濠からは、水鳥、鶏、円筒埴輪が出土した。当時の近畿地方と同様の技術で製作され、大和王権と密接な関係を持つ実力者であった。最近の発掘で第二埋葬施設が発見された。墳長 55m の勝手塚は古墳全体が勝手神社の境内であり、周濠は南側の境内地を除き、外縁に周堤が確認される。

6 世紀中～8 世紀前半：東谷山古墳群が出現した。山麓斜面に位置し 40 基程の小円墳である。7 世紀前半に白鳥 1 号墳が築造。（市史跡）径 18m の大型円墳。馬具、刀子、鐵族が出土。全長 10m の横穴式石室は、市内唯一の完存在である。（23 期・環境）

参考文献

- 守山市教育委員会 1963 「守山の古墳」
- 名古屋市教育委員会 2011 「志段味古墳群」
- 名古屋市博物館 2012 「尾張氏・志段味古墳群をときあかす」
- 守山市 50 周年記念事業 2013 「守山区誌」
- その他



中社古墳

提供：名古屋市教育委員会文化財保護室



緑区と芭蕉

—緑区— 緑鯨城会

総務長 石井 夙三郎

緑区は、今年区制 50 周年を迎えました。

「緑区」とはありふれた地名のようですが、名古屋市「緑区」は、他の都市の「緑区」とは一味違うと思っております。

江戸時代の東海道鳴海宿は、桶狭間合戦に勝利した織田信長が整備した鳴海街道をそのまま利用したといわれております。

東の入口平部の常夜灯から約 800m 西に「手打蕎麦」の看板が掛かった長屋門のある屋敷があり、これが松尾芭蕉と交遊が深かった下郷知足の邸千代倉家（下郷本家）です。芭蕉は緑区特に鳴海と縁が深く、生涯 4 回鳴海を訪れ知足宅に逗留しており、鳴海宿周辺には、4ヶ所に 6つの翁塚があります。

三王山の千句塚公園にある千鳥塚は、日本最古の翁塚で芭蕉存命中唯一のもので、『星崎の闇を見よとや啼く千鳥』の句碑もあります。

誓願寺にある供養塔も古く、芭蕉没年の元禄 7 年（1694 年）に、近くの如意寺で芭蕉追悼の句会が行われた折りに建てられ、その後誓願寺に移されたとのことです。

緑区命名の由来とも言われている翁塚が成海神社境内にあるのをご存知でしょうか？

芭蕉が 3 度目に鳴海を訪れた貞享 5 年（1688 年）に「鳴海眺望」と題して詠んだ『初秋や海も青田の一みどり』の句碑です。

単なる偶然ともいわれていますが、緑区命名の由来を聞かれると、私は必ず芭蕉のこの句を引き合いに出すことにしています。

(24 期・地域)



芭蕉の鳴海での逗留先・千代倉家



三王山千句塚公園の「千鳥塚」



誓願寺にある芭蕉翁供養塔



成海神社境内の句碑
『初秋や海も青田の一みどり』



半年を振り返って

一名東区一 名東鯨友会

会長 竹尾 明

平成 25 年 8 月 24 日（土）は、名東鯨友会 25 周年祝賀会と言う記念すべき日です。

天気にも恵まれ幸いでした。特別の来賓には、松浦鯨城学園副学長、内山名東区社協事務局長、堀場鯨城会会長及び市川教授（名東区担当）のご来賓を頂き、4 氏からは、名東鯨友会将来の期待と先輩諸氏への労苦、今後の鯨城学園、鯨城会のありかた等いろいろ多くの祝辞を頂きました。式は順調に進み最後に万歳三唱で滞りなく終了しました。

この祝賀式の前に臨時総会をしました。

それは、毎年 4 月に行われます総会の議決に総会成立の記載がなく（会員が多くなってその不合理に気が付く）、その不合理を解消するため、「総会は会員の過半数（委任状を含む）の出席で成立する」という文言を加えることについて議決を頂くための総会でした。おかげで無事に皆様の賛同を得た次第です。

5 月は社会見学（岐阜県郡上市）古今伝授の里フィールドミュージアム（野外博物館）鎌倉時代末期の東氏が篠脇城を構えたところ、新緑の小さな山々に囲まれた今でも静かで落ち着いた景観を楽しめる心地よい別天地でした。

6 月は 7 日に第 3 回地域ミーティング西一社第一公園の清掃一社駅より北側と南側歩道に分

かれ清掃しました。6 月 14 日～16 日は「総合美術展」およそ 280 人程の入館者でした。12 日（水）「新日鐵住金名古屋製鐵所見学と新美南吉記念館半田の町散策」参加者 58 名、製鐵所では紙より薄いものから厚い鉄板を製造する国内有数の一貫製鐵所で名古屋ドームの 130 個分の敷地に従業員 3 千人が従事しているとのこと、真赤な鉄が薄くなる場所は壮観でした。

7 月は「富士五合目と朝霧高原と白糸の滝」を目標としていましたが、時間の都合で富士山だけになりました。しかし、今回は世界遺産登録を間近に控えていたせいか、富士山ブームの真只中で初めてバス 2 台の企画（89 名）となり、担当者も大変だったと思います。

これは特に担当者を中心に会員の皆様のご協力の基に、少しでも安全安心、尚かつ経済的にと気を使って頂けるからです。

他と比較しても経済的に皆様に満足して頂けるので、常に定員オーバーで嬉しいことです。地域ミーティングや総合美術展は無論、研修旅行や野外活動は触れ合いの機会だと思います。これを機会に友達が友達を呼び、明るい雰囲気

で活動できるのではないかと思います。

皆様の一層のご協力をお願いします。

（24 期・園芸）



ボランティア



25 周年祝賀会



「27期生・地域ミーティングについて」

—天白区— 天白こじょう会

会長 豊田悦造



第1回目の地域ミーティングは、平成24年4月11日の入学式直後に、ライフプラザ6階の視聴覚室で、午前11時から1時間ほど行いました（顔合わせ程度）。第2回目は、11月21日午後1時～2時30分、天白こじょう会の活動状況の概略、天白社会福祉協議会が行っている業務などの説明がされ、その後5～6人のグループに分かれて自己紹介、住所などの情報交換をして頂きました。そして、各グループで話し合われた内容をそれぞれの代表者から発表をして終了しました。最後にアンケートを提出をしていただきました。第3回目の地域ミーティングは平成25年6月7日に行いました。

「地域活動の実践体験」をテーマに天白社会福祉協議会に午前10時に集合、学区ごとにグループ分けした席につき、松浦副学長、社協の事務局長から説明を受けた後、ゴミ挟み、軍手、ごみ袋、お茶を持って、天白川の両岸堤防道路を地下鉄原駅から天白区役所まで清掃作業を天白こじょう会のメンバーと一緒に実施しました。今年は、暑さの厳しい日が続き、参加者30名の中には足に不安のある方もあり、コース設定など配慮が必要であったと反省をしています。



(24期・美術)

「地域ブロック懇親会で…」

広報担当リーダー 八木勝男



平針ブロック会 懇談会

数年前から地域毎（7ブロック）に懇親会を年2回程度開いております。クラス、クラブを超えて年度卒にかかわらずミーティングをし交流をしています。この懇親会のメリットは地域の卒業生が誰がどこの地域で活動されているかが分かります。それから諸先輩の自己紹介でのコメントが嬉しいのです。たとえば、鯨城会の歴史とか天白こじょう会についての進言、またまたボランティア・行事についてのあり方等、大変参考になります。もちろん会には豊田会長およびブロックの委員長が参加し、意見交換がなされています。このミーティングのスキルに期待し、天白こじょう会の更なる発展を期待しやみません。

課題としては出席率が30%ぐらいですので、アップの対策が望まれます。

広報担当として、皆さんの懇親会の模様を「天白こじょう会だより」にその都度掲載し会員の方にお知らせしています。



(24期・生活B)

平成 25 年度鯨城会期別・学科別会員数一覧表

	生A	生B	文A	文B	園芸	陶芸	地域	健康	美術	環境	国際	福祉	合計
1期	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
2期	1	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	5
3期	5	0	1	0	1	5	0	0	0	0	0	0	12
4期	3	1	2	3	1	0	0	0	0	0	0	0	10
5期	3	0	1	1	4	4	0	0	0	0	0	0	13
6期	2	1	5	0	3	1	0	0	0	0	0	0	12
7期	6	1	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	13
8期	5	1	7	3	3	6	0	0	0	0	0	0	25
9期	5	1	3	4	2	3	0	0	0	0	0	0	18
10期	6	2	1	2	7	2	0	0	0	0	0	0	20
11期	4	5	12	2	5	3	5	12	4	0	0	0	52
12期	8	2	14	2	9	4	10	6	14	0	0	0	69
13期	13	9	6	3	10	4	4	6	5	0	0	0	60
14期	20	13	16	13	9	4	11	10	13	0	0	0	109
15期	15	9	13	4	9	2	11	9	9	0	0	0	81
16期	21	13	20	14	15	15	18	15	13	0	0	0	144
17期	21	14	26	11	24	11	22	16	15	18	13	19	210
18期	22	16	23	25	18	8	15	18	13	26	22	15	221
19期	23	12	24	13	26	13	27	13	12	20	24	21	228
20期	19	15	32	16	27	19	16	15	21	25	16	25	246
21期	19	24	23	21	29	17	26	34	17	29	15	27	281
22期	23	27	21	26	24	20	25	27	20	32	16	20	281
23期	30	27	24	23	27	23	25	22	19	23	14	19	276
24期	30	39	39	26	30	26	29	26	27	33	29	36	370
25期	31	31	34	31	37	31	40	36	24	35	27	32	389
26期	38	39	38	37	31	28	36	37	22	36	23	45	410
合計	374	302	388	281	356	252	320	302	248	277	199	259	3558

平成 26 年度 鯨城会会長立候補届について

- 1) 立候補期間 平成 25 年 12 月 1 日（日）～平成 25 年 12 月 10 日（火）
- 2) 届 出 先 平成 25 年度鯨城会会長（総務委員長経由）
- 3) 立候補資格 被選挙人は、区会役員経験者または本会幹事経験者のうち、立候補または区会もしくは幹事会による被推薦者とする。但し学園卒業後 5 年以内（就任時）の会員とする。
- 4) 届 出 書 式 下記の届出書をコピーしてご利用ください。

鯨城会会長立候補届出書

平成 25 年 12 月 日

鯨 城 会 会 長 様

私は平成 26 年度鯨城会会長に立候補します。

立候補者	氏 名			
	卒業期・学科	期	学科	組

地域ミーティングを実施して

名古屋市高年大学 鯉城学園教授 喜多島 慎

本年6月7日、第3回地域ミーティングを鯉城会の皆さんの多大なご協力で実施することができました。学園といたしましても初めての試みで、実施に当たり不安ばかりでしたが、各区の鯉城会の皆さんの工夫とご配慮で無事実施できました。本当にありがとうございました。授業の一環として行うため、2年生の授業日である金曜日に一斉に実施し、また、晴雨拘わらずの実施で大変ご苦勞をおかけいたしました。しかし、学生のアンケート結果や、鯉城会のアンケート結果からはよかったとの声が多くありました。

去る8月8日に、27期生の地域ミーティングが1サイクル終わりましたので、鯉城会・社会福祉協議会の皆さんと第3回のまとめと地域ミーティング全体を振り返る会を行いました。入学式後の第1回は無理があるのではないか、1年間の日程をできるだけ早く知らせてほしいとのご要望も承りました。

次年度は、学園自体が入学生の数も含めて大きく変わります。また、これまでの教養講座での地域活動に関する講座をまとめ、「地域活動学習講座」も新たに実施することになります。この講座の一環として地域ミーティングも継続していく考えです。これから次年度の計画の策定が始まります。鯉城会のみなさんのお知恵をまたお貸し頂けますようお願いいたします。

納涼健康講座「イキイキ健康・いきいき長寿」の開催とお礼

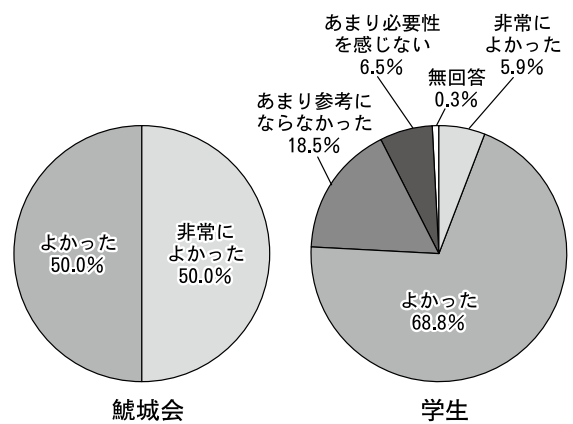
名古屋市高年大学 鯉城学園 事務長 渡邊 文邦

今年も4回目となる納涼健康講座を開催しました。例年のない猛暑のなか、また一日は大雨のなか、大変心配をしておりましたが、5日間合計で延べ1,390名の皆様にお越しいただき、盛況で一同ほっといたしました。特に鯉城会の皆様には多数ご参加いただき、また、役員の皆様には朝早くから会場のお手伝いもしていただきまして、誠にありがとうございました。

例年のように右記にアンケート結果をお伝えして、開催の報告とさせていただきます。今後とも皆様に喜んでいただける講座を企画いたしますので、ご期待ください。



地域ミーティングに参加して



納涼健康講座アンケート結果

あなたは		年齢	
一般市民	366人 37.3%	50代	6人 0.6%
本学園の学生	238 24.3	60代	415 42.3
本学園の卒業生	343 35.0	70代	451 46.0
聴講生	33 3.4	80代	108 11.0
性別			
男性	32人 33.6%		
女性	651 66.4		
この健康講座をどちらでお知りになりましたか。(複数回答あり)			
チラシ	304人 28.4%	ホームページ	42人 3.9%
新聞	48 4.5	知人・友人	135 12.6
広報なごや	138 12.9	その他	55 5.1
鯉城ニュース	348 32.5		
講師の選定について		講演内容について	
良かった	817人 83.4%	良かった	819人 83.6%
普通	139 14.2	普通	138 14.1
悪かった	7 0.7	悪かった	11 1.1
無回答	17 1.7	無回答	12 1.2
お褒めのご意見 (主なもの)			
<ul style="list-style-type: none"> ・わかり易く実生活に役立つ話だった。 ・実践的で迫力がありました。目からウロコでした。 ・一般的にはあまり知られていないことをこの講座で教えていただきました。 ・期待どおりよい講座でした。言い難いことをきちんとお話されました。 ・来年度、もう一度聞きたい講座もいくつかありました。 			
お叱り、ご要望等 (主なもの)			
<ul style="list-style-type: none"> ・会場がやや暗くなりますので、資料の字を大きめにしてください。 ・動きがある講師の方にはピンマイクを付けていただきたいです。声が途切れますので。 ・もう少しゆっくり話していただければと思うこともありました。 			

第 10 回グラウンド・ゴルフ交歓会成績表

平成 25 年 10 月 7 日(月) 鶴舞公園陸上競技場 参加人数 247 名 区会活動委員長 栗木 一

	順位	氏名	区	2ラウンド(16ホール)			順位	氏名	区	2ラウンド(16ホール)	
				1打回数	合計打数					1打回数	合計打数
A ゾーン	優勝	伊藤照之助	天白	1	39	C ゾーン	優勝	新井 充之	中村	1	39
	準優勝	二村 眞弘	中川	1	39		準優勝	広田 穂積	中川	0	43
	3 位	伊藤 久雄	中	1	40		3 位	久米 昌孝	千種	0	43
	4 位	田中 君代	西	1	40		4 位	押村 三夫	中川	0	44
	5 位	櫻井 健	熱田	1	41		5 位	畑佐 民定	南	0	44
B ゾーン	優勝	久野 秀雄	守山	2	35	D ゾーン	優勝	八木 勝男	天白	2	34
	準優勝	峯田 進	千種	1	37		準優勝	草塩 正治	北	3	35
	3 位	伊藤喜代蔵	守山	1	37		3 位	中島 影宏	緑	1	37
	4 位	奥田 靖男	名東	1	38		4 位	稲熊 連二	南	0	40
	5 位	神谷 裕	天白	1	40		5 位	山本 捷一	緑	1	42



(25 期・生活 A)

第 28 回公開講演会を終えて

行事委員長 山 崎 廣 徳

当日朝 6 時前迄は相当な勢いで雨が降っており、今日の開催と来客の数が心配であった。いざ蓋を開けて見たら天気は小康状態で安堵。

幹事委員の皆様もやる気で会場準備万端で進み、代議員の皆様も集合し朝の連絡会の時にはお客様がどんどんお見えになりいつもより早いペースで席が埋って行った。12 時 45 分位から玄関前の道路にて先生をお迎えにと、立っていたら顔見知りの方々が続々来場して挨拶にかまけていたら、先生が目の前にお見えになった。早速 5 階に案内して、会場設営状況や観客動員数等を観ていただいて、講演に向けてのスタンバイに入って頂いた。

先生も今回の様な大きな会場で満席での講演は初めての事とおっしゃり、私共としても大変ありがたい事である。聴講者皆様の方で先生もびっくりされる位の参加数での開演で、お話の始まりは少々上り気味での開始でした。が、すぐに平常、さすが、お話は通常庶民では知り得ない内容の事で歴史の裏側を垣間見る事が出来たと思っております。聴講された

皆様も続きが聞きたいと言う要望も多数でした。ありがたい事です。今回は大変な入場数となり会場に入り切れずに、モニター室での臨場になられた方々には申し訳なく思っておりますし、又、会場の音声の通りも後部座席では初期設定から外れ、聞き辛い状態が生じた事にも申し訳ないと思っております。質問タイムは長くは取れませんでした皆様との機知に富んだお話しで喜んで頂けたのではと思っています。又、舞台出口ではファンの皆様お待ち受けて、先生は取り囲まれてお見えになり、余韻を残して帰途につかれ会長がお見送りしました。

今回の来場数 910 名の内 500 名が卒業生の方々でした。私共としてはもっと多くの卒業生の皆様に来場を願って、ホール行事を通して皆様に集まって頂いて元気な顔を学友の方々に見せ合い「やっとかめ、やっとかめ」で次のホール行事に再会を約して顔見せ会として利用して頂きたいと思っております。

(24 期・園芸)

堀川清掃大作戦

社会奉仕活動委員長 稲田 萬吉

平成 25 年 7 月 13 日（土）鯉城・堀川清掃大作戦に参加致しました。と申しましても納屋橋の本部詰です。鯉城旗は当初 1 本だけで寂しいものでした。昨年は大勢の人であふれて、旗は 5 本もたてて壮観でした。今年は来賓として名古屋市長さんが見えましたのにお気の毒にと思いました。でも市長さんは色紙を 2 枚書き、堀川と生活を考える会の会長さんにお渡しになりました。その後、雑談として、東京は隅田川をきれいにし、大阪は道頓堀をきれいにしている。名古屋の堀川も、中心部の納屋橋近辺まで澄んだ川にしないと、よそから名古屋に遊びに来なくなるとお話になりました。

ご挨拶の中で名古屋市歌としてドラゴンズの歌を元気よく唄われました。ユーモアたっぷりであったと思われました。その後本部詰の部屋で各拠点での清掃活動が済むまで待つ間に、堀川と生活を考える会の方 17 期から 25 期までの 20 数名とお話する機会を得ました。

昨年、全国で一斉にボランティア活動をする第 3 回「メイク・ア・チェンジデー」（実行委員会主催、朝日新聞共催）の優秀活動が 10 日に発表された。活動に事前登録した「堀川の水質検査と清掃活動」が評価され、優秀賞を獲得

したと、嬉しそうに話される姿に私も本当に嬉しくなりました。昨年は高年大学鯉城学園も名古屋市から事業仕分けの対象でしたので、名古屋市民に役立つことを環境学科の皆さんとその OB の方々のおかげと感謝・感謝で一杯です。その後何か変わりましたか？学園の先生も喜びの言葉で良くやってくれた、と一層親切にして頂きました。鯉城会の皆さんも凄い事だと言葉を良く掛けられました。家族も友人も全ての人に喜んで話しかけられました。本当に嬉しかったです。

その後、各拠点総括責任者より電話連絡が入りました。各区の鯉城会・学生会の参加人数の報告等あり、私は横に腰かけてメモを取り、全体をつかむ事に努めました。

その内に堀川と生活を考える会の方々も清掃活動を終了して、本部に帰ってきました。汗びっしょりで帰って来て、「誰が酷暑の 7 月に大作戦を決めたのだ」と言われました。まったくそのとおりです。身内からも反対の声があがりました。

その後、大作戦の反省会で 7 月・8 月の酷暑の日は避けると決まりました。

（24 期・国際）



表紙説明

名港中央大橋（めいこうちゅうおうおおはし）

名港中央大橋は、伊勢湾岸自動車道伊勢湾岸道路の名港潮見 IC（名古屋市港区潮見町）から名港中央 IC（名古屋市港区金城ふ頭）の間にある橋梁である。

名古屋港を横断する名港トリトン（名港東大橋、名港中央大橋、名港西大橋）の一つである。

橋の特色として、橋長 1,170m、中央径間 590m の規模を誇る鋼斜張橋である。又、名古屋港を航行する大型船の航行を考慮して海上面 47m の空間を確保している。

夜間には、ライトアップされ、塗装色の白色で夜空に映えている。

諸元として、所在地は、愛知県名古屋市名古屋港、使用開始 1998 年 3 月 30 日、形式 3 径間連続鋼斜張橋、幅員 34m（片側 3 車線）橋脚主塔 195m、工法 バランシング工法、灯具 メタルハライドランプ（524 灯）となっている。

撮影文 高橋 喜久男（26 期・文化 A）

訃報

平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日届出

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略）

大野智恵子（15・文化 B）	25. 3. 20	鬼頭 典子（22・文化 B）	25. 6. 30
森 芳郎（11・陶芸）	25. 4. 2	榊原 武（6・文化 A）	25. 7. 21
鈴木 覚（26・文化 B）	25. 5. 7	寺野 邦夫（23・生活 A）	25. 7. 26
鈴木 秀典（13・文化 A）	25. 6. 9	森 昌子（23・健康）	25. 8. 10
倉知寿太郎（22・文化 B）	25. 6. 19	野々垣雅夫（19・園芸）	25. 8. 14
菅谷 迪也（18・園芸）	25. 6. 24		

編集後記

伊勢神宮の第 62 回式年遷宮が、10 月に執り行われた。20 年毎に、正殿に隣接する敷地に、新しく正殿を建て替える祭事で、常にみずみずしさを尊ぶ神道の「常若（とこわか）」と言う考えからとされる。

本来、伊勢は神仏習合の聖地でもあり、明治期まで伊勢神宮の境内には仏教的な建物、祭事をする場所があったが、神仏分離令で撤去されてしまった。伊勢には密教の山である朝熊山（あさまやま）が有り、伊勢音頭に「お伊勢参らば朝熊をかけよ、朝熊かけねば片参り」とある様に、江戸時代まで伊勢参りの人々は、朝熊山にもお参りをして、「神は仏を嫌わず、仏は神を排除しない」という日本人の信仰の原点を実践していた。

季節の変化に富むが災害も多い難しい風土の中で、生き抜いていく為に、日本人は自然を畏敬する心を作り上げた（山岳信仰）。そういうなかで遷宮を長く続けてきた。古きものを壊し新しいものを作り上げる、遷宮という儀式の中に、伝統的な形を保ちながら、新しい技術や知恵を注入してきているといわれる。

鯨城学園が新たな時代に向かう時に、鯨城会は、何を壊し、何を守りながら、新しいものを作りあげていくのか。

我々は、この新しい流れを、的確に捉え、伝えていかなければならない。

最後になりましたが、鯨城ニュース 25 号の発行にあたり、ご協力を頂きました皆様に感謝し、心より厚くお礼を申し上げます。

広報委員：館敏也・梅田国清・原清隆・岩井海南子・猪飼甫・中村さよ子・佐野朋子
ホームページ担当 池田正子

第4回

区会員

予告で～す

時間と出演順はまだ未定です

鯉城OB文化祭

参加クラブ

- ◇ 鯉城民謡クラブ同好会
- ◇ 高年大学太極拳同好会
- ◇ 鯉城手話サークル「白ゆり会」
- ◇ 名古屋甚句同好会・甚鯉会じんしゃち
- ◇ こじょう混声合唱団
- ◇ (24)トウェンティーフォー
- ◇ 手話ダンス・四季の会
- ◇ 詩吟同好会「オレンジ」
- ◇ ぜに太鼓同好会
- ◇ こじょうオカリナクラブ
- ◇ 白川ハーモニック・クラブ

以上11チームが、出演します。ご期待ください。（出演順はまだ未定）

鯉城OB文化祭は、鯉城学園生が卒業しても、各々の会で日夜鍛錬練習に励み、卒業生や在校生、一般市民の皆様に鯉城会員が、その成果をご披露する場です。老いや若きに関係なく自由に観覧ください。

- ◇月 日 平成26年3月13日(木)
- ◇開 場 11:00
- ◇開 演 11:40～16:00
- ◇場 所 伏見ライフプラザ5階鯉城ホール
(中消防署・階上)
- ◇入場無料 多数お誘いご来場ください

主催 名古屋市高年大学 鯉城会
問い合わせ先 052-222-7521

第29回 公開講演会

お口を大切にすると見えてくる良い事!

～お口と全身 地元・地域との関わり～



講師

歯学博士
おしむら歯科医院 院長
押村進 先生

『講師プロフィール』

略 歴

昭和29年3月名古屋に生まれる 59歳
昭和53年3月 愛知学院大学歯学部卒業
昭和58年10月 中川区にて『おしむら歯科』開業
平成9年 愛知学院大学博士
平成17年より 藤田保健衛生大学 皮膚科客員講師
現在に至り活躍中

【所属学会】日本有病者歯科学会
日本口腔ケア学会
日本接触皮膚炎学会

【書籍等】ビジュアルダーマトロジ
歯科との連携で治す皮膚疾患
日本歯科医師会雑誌 等

【社会活動】中川区街の魅力発信隊員

なかがわく みんなのうた、前田利家 音頭、
名古屋市歯科衛生士学校校歌、あおなみ旅情、 } 作曲
あおなみ線公式応援歌など



今から600年程前、室町時代の狂歌の中に『一代の守り本尊たずぬるにわれ人と共に食と汁なり』と禅宗の僧侶一休禪師が仏や菩薩の名ではなく命を繋ぐものとして食べる事に言及しているのは将に驚きである。食する事の大切な事を突いている。人が一番初めに食物と出会う所は口、歯、舌であり味覚、臭覚、触覚等で食べ物を美味しく感じ、よく咀嚼して身体に送っていますか？

今回の先生は歯の専門です。私達の健康と歯や歯茎の関係やお手入れ等、日々のケアの事等どんなお話に為るのでしょうか。昨今の地域に密着した医療として、幼子から年配者までお世話になるお医者様で、多趣味を生かされ地域振興にも活躍中です。

行事委員 山崎 記

◇月 日 平成25年12月5日 (木)

◇開 場 12:30

◇開 演 13:30～15:00

◇場 所 伏見ライフプラザ5階鯉城ホール
(中消防署・階上)

◇入場無料 多数お誘いご来場ください
要約筆記・手話通訳も準備

主催 名古屋市高年大学 鯉城会
問い合わせ先 052-222-7521

会場案内図

